

令和2年度 新入生を祝う会

校長挨拶

新入生の皆さん、こんにちは。校長の田村です。

あらためて「ご入学おめでとうございます。」

本年度は、1年生200名、マレーシアからの留学生1名、モンゴルからの留学生3名が本科に入学しました。心からお祝いし、歓迎いたします。

すでに4月から本校の学生となっている皆さんですが、コロナ災害のために、入学式ができなくて申し訳ありませんでした。

また、皆さんの入学を慶び、そして、なかなか授業が始まらないことを心配しておられる保護者の皆様にも、『校長が、おめでとうございますと言っていたよ』と伝えて頂ければ幸いです。

4月14日には、私から学生の皆さんに向けてビデオメッセージを送りましたが、見て頂けたでしょうか。その最後に、自宅で過ごす間に本校の校歌を覚えて下さいとお願いしましたがいかがでしょうか。新聞報道で読まれた方もおられるかと思いますが、本校の校歌は、NHKの朝の連続テレビ小説「エール」で、今回、主人公になっている作曲家の古関裕而さんに初代校長の内藤先生がお願いして作って頂いたものです。古関裕而さんは、甲子園の「栄冠は君に輝く」や、1964年に日本で開催された東京オリンピックの「オリンピック・マーチ」の他、たくさんの学校の校歌も作っておられます。全国の国立高専では本校が唯一ですが、古関裕而さんからは、元気に力強く歌って下さいと手紙も寄せられていました。元気に力強く学校生活を送って下さいというメッセージも込められていると思います。今日は、この会の最後に校歌を流しますが、声に出して歌うことは禁止ですので、心の中で、元気よく歌って下さい。

ここまで、周囲の高校では授業が行われているのに、本校ではなかなか授業が始まらないといったことで、ストレスがたまったりした人もいるかも知れません。しかし、この点、私は、今回のコロナ災害は皆さんが高専と高校の違いを感じる一つの機会になったのではないかと考えています。

日本では、多くの方が、中等教育としての中学校から高校に進学し、その後、

高等教育の大学へ進んで社会人になりますが、高専を選んだ皆さんは、中学校から直接、大学と同じ高等教育機関に進学したということです。でも、ここでは、高校で教わる教育の内容を飛ばしているわけではありません。高専独自のモデルコアカリキュラムという、エンジニアを育てるために必要な教育プログラムが、高校や大学の教育プログラムの中から選択して作られているということです。

今回のコロナ感染症に対しても、学校では、先生達が、皆さんの教育について熱心に対応を検討してきました。その結果、5月からは遠隔授業と面接授業を併用して、段階的に8月末からは集中面接授業を行い、そして、10月からは全面的な面接授業に移行するというので、計画を立てて授業を進めてきました。

そして、この間に、先生には遠隔授業の方法も工夫して頂いて、コロナが終わっても学生が自分で勉強できる教育環境高度化に取り組むと共に、もし、これから、再度コロナウイルス感染症が拡大しても、遠隔授業で対応できるよう準備していただきました。

ぜひ、皆さんには、高等教育機関福井高専に進学したことに自信とプライドを持って頂きたいと思います。と同時に、ここで学ぶと言うことは、福井高専の卒業生として社会において責任ある人になる準備をするということです。その覚悟をもって、毎日の勉強に励んで頂きたいと思います。

さて、皆さんは、本校に入学するにあたり自分が専門とする学科を選ばれました。将来、その専門分野のエキスパートとして活躍されることを期待していますが、「Society 5.0」という言葉をご存知でしょうか。

Society とは、社会ですね。「Society 5.0」とは、人類社会の進化を5段階に考えて、狩猟社会を1、農耕社会を2、工業社会を3、情報社会を4、そして、来たるべき未来社会を5番目の社会として、日本の内閣府が発表したものです。IoT、AI、ロボットといった現在の情報技術を発展させて、さらに進化した高度な情報化社会をつくらうというものです。もともと、コロナの感染を意識していたわけではありませんが、今回のコロナ災害で、情報化社会の重要性が再認識されました。

皆さんは、今後、自ら専門とするところを、直接、あるいは、間接的に情報化社会と結びつけるエンジニアとして、まさに Society 5.0 の時代を支える人になって頂くことになります。ぜひ、来るべき社会に対応するためにも、本校で様々な力を身に付けて下さい。

本日は、このあと、皆さんには「本校のクラブ紹介」と本校の先生の研究室を訪問する「ようこそ1年生」という企画が用意されています。

クラブ活動は、自分と目標あるいは価値観を共にする人たちと一緒に時間を過ごす「居場所」を提供してくれると同時に、大会やコンテストに参加するなどして高い目標に向かって挑戦する場でもあります。健康な体作りのみならず、授業で学ぶこと以外のチャレンジ精神、チームワーク、マネジメント、そして、人との関わり方を学ぶ絶好の場です。本校では、キャンパスプロジェクトという独自のコンテストもあります。そうした課外活動は勉強との両立やバランスが大切ですが、充実した高専生活を送るためにも、ぜひ、積極的に参加して下さい。

また、「ようこそ1年生」では、グループに分かれて本校の先生の研究室を訪問して頂きます。皆さんの中には、オープンキャンパスで本校の研究室をのぞかれた方もおられるかも知れませんが、いよいよ、その研究室で勉強する日も近くなりました。今日は、そうした先生と仲良くなろうという企画です。先生達は、教師であると同時に専門とする分野では素晴らしい研究成果を出されておられる研究者です。今日は、きっとアットホームな感じでお話しして下さると思いますので、ぜひ、リラックスして訪問して下さい。

最後にお願いです。

本日のイベントを終えたら、ぜひ、今日の気持ちを「初心」あるいは「志」として、文字にして下さい。実は、既に配布を終えたクラスもあるようですが、本日、本校の職員の方が手作りした箱に入ったシャープペンシルをプレゼントします。その箱に「初心忘れず！」と書いてあるところがあります。ぜひ、そこに今日、帰ったら今思っている「初心」、「志」を記入しておいて下さい。「夢」でも構いません。私たちは、皆さんの「初心」、「志」が全うできるように全力で応援します。

ちなみに、私は昨年本校に赴任しましたが、私の「初心」「夢」は、「福井高専を日本一の高専にしたい」というものです。これは、着任時に、学生や教職員の皆さんに宣言しました。大きな夢ですが、この「夢」に向かって私も日々努力したいと思います。ぜひ、皆さんも自分自身の大きな夢に向かって、一步一步、前進して下さい。

おわりになりましたが、本日の会の準備や進行に御協力頂きました教職員の皆様、暑い中お集まり頂いた報道関係の皆様にも、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

この度入学された皆さんのこれからの高専での日々が、達成感と充実感で満たされますことを心から祈念して、お祝いの挨拶とします。がんばりましょう。

令和2年9月2日

校長 田村隆弘